



## ERRATA SHEET MAXQ2010

### 改訂版B3の正誤表

下記の正誤表は、MAXQ2010 改訂版 B3 コンポーネントの動作がデータシートにおける想定または記載した内容と異なる状況を説明しています。Maxim Integrated Products, Inc.は、現在の製品そのものの再設計の機会に正誤表を修正する予定です。

この正誤表シートは、MAX2010 改訂版B3 コンポーネントのみに適用されます。改訂版B3 コンポーネントは、yywwB3 の形式の 6 桁コードがパッケージの上面に印刷されています。ここでは、yyおよびwwはそれぞれ製造年度および製造週を表す 2 桁の番号です。他のMAXQ2010 のダイ改訂版に関する正誤表シートを入手するには、マキシムのウェブサイト[japan.maxim-ic.com/errata](http://japan.maxim-ic.com/errata)を参照してください。

#### 1) 32kHz の発振器モードに設定にすると、ある環境下で、停止モード動作と干渉することがあります。

##### 説明:

32KMD[1:0]のビットによって 32kHz 発振器の動作モードが選択されます。「通常にノイズ耐性モードで動作させて、ストップモードエントリのモード停止に切り替える」(32KMD[1:0] = 10)と、デバイスがストップモードから抜け出すことに失敗します。

##### 回避策:

32kHz 発振器のこの動作モードを選択しないでください。その他の 32kHz 発振器の動作モードは正しく動作します。